

## 「黒人的」な身体表現の進化モデル

### 米国黒人ペンテコステ派教会の憑依トランスダンスの事例より

野澤豊一(金沢大学)

アメリカ合衆国(以下「米国」)の黒人キリスト教会、なかでも19世紀末から20世紀初頭にかけて発祥しその後世界的な広がりを見ているペンテコステ派の宗教実践は、異言(glossolalia)と、「シャウト(shout(ing))」と呼ばれる憑依トランスダンスを代表とする、聖霊にかんする儀礼的实践に特徴づけられる。本発表でとりあげるのは後者の「シャウト」についてだが、なかでも、それまでかなり多様だったシャウトの様式が、比較的近年になってある傾向のもとに収斂しているという興味深い事実について報告する。その上でこの変化を、「表現様式の進化モデル」の一例として仮説的に提示することを試みる。

発表者はこれまで、米国の複数の地域でシャウトの実践を見てきたが、そこで次のような傾向に気づかされた。すなわち、シャウトの表現自体は個々人でかなり多様なのだが、そのなかでもある特定のタイプの表現様式が地域を超えて実践されているということである。シャウトに伴う音楽などから判断するに、これは比較的近年になって現われたものと考えられるから、この変化は大まかにいって歴史的なものといえることができる。この変化を大掴みに理解するために、まずは発表者が調査地で撮影してきたビデオ映像を利用して、その表現様式の幅・分布過程・傾向を把握する。単純化のために、シャウトを「旧いタイプ」と「新しいタイプ」に分けてみると、両タイプの特徴は以下のように対比させることが可能になる。

	旧いタイプのシャウト	新しいタイプのシャウト
地域	田舎中心	都市+都市郊外中心
世代・年齢層	年配者中心	若者中心
表現 (特に顔の表情)	(右と比較すると)コミカルにみえる場合もある	「泣き」や「叫び」の表情に、「憑かれている」という「リアルさ」と「シリアスさ」が顕著
シャウトに伴う音楽	中程度以上のテンポ(=100~)の音楽	シャウト専用の音楽(極端に速いテンポ; =320~340+リズムが強調)にほぼ限られ、これには「はじまり」と「おわり」のテーマが含まれることが多い
歌唱との関連	歌唱中にも起こる	歌唱中は起こらない
身体の動き	個々人で動きは多様で、さして目立たない場合もある	動きが極端に様式化しており(その場での足踏み、頭や腕を大きく振る)、速く激しい動きのために非常に目立つ
ダンスの持続	数分に及ぶ場合もある	1分ほども続かない(「短距離走」的)

ここで考えてみたいのが、この変化を「新タイプのシャウトの進化過程」として仮説的に提示しうるかどうか。すなわち、新タイプがいかに発生し広まったのかについて、上の表現様式の特徴と整合性をもちうる形で提示しうるか、ということである。

この問題を考える前に、まずは「シャウト発生のメカニズム」を理解しておく必要がある。発表者はこれまで、相互行為論の視点からこの問題に取り組んできたが、それによるとシャウトが成立するには、「シャウトする者」「その周囲にいる人びと」「音楽家」「説教師」の間に「相互的な没入」が不可欠である。小規模な礼拝の場合(信者の一人ひとりがお互いの「気分」や行動をある程度予期できるとすると)、シャウト表現が控えめであったとしても、相互的な没入はある程度自然に達成されうる。ところが、(米国黒人社会の生活スタイルの郊外化に伴って出現した)何千・何万の見知らぬ人同士が隣り合うという新しい礼拝形態では、シャウトの表現が過剰になること抜きには、相互的な没入が成立しづらい。新タイプのシャウトが発生し発展してきたのは、この環境においてと思われる(シャウトの「はじまり」と「おわり」を告げる専用のテーマ音楽も、この環境にこそふさわしい)。すなわち、シャウトの相互行為空間が、「シャウトする者-近接する者」から、徐々に「シャウトする者-傍観者」へと拡大しており、シャウトの表現様式もそれにあわせて進化しているということである。

この進化は「文脈依存度がますます小さくなる過程」とまとめられるが、より具体的にいうなら『シャウトである』と一目でわかるようになる過程であり、この特徴は2通りに説明できる。ひとつは、様式化が極端に進み表現が過剰になるということ、もう一つは、(音楽などの効果によって)「これはシャウトである」という枠組みを自ら作り出すということである。この仮説からは、シャウトの表現が、模倣されるにしたがってますます「わかりやすく」様式化され、刺激の過剰なものになるという派生モデルが導き出されるが、このモデル自体が「憑依」という表現と非常によく折り合うということは、興味深い。またこの仮説は、シャウトを「黒人性」や「アフリカ性」の代表とする本質主義の素朴なヴァージョンに対して、有効な批判を提示してもいることが確認できる。

【身体表現、相互行為、ペンテコステ派、憑依トランス、黒人性】